

様式第1（第15条関係）

会 議 録

会議の名称	平成29年度 第2回 和泉市公共施設マネジメント推進審議会
開催日時	平成30年 1月31日（水） 午後2時30分から 午後4時00分まで
開催場所	和泉市コミュニティセンター 1階 中集会室
出席者	（委員） 辻壽一会長 佐藤正浩副会長 田中晃代委員 吉弘憲介委員 小川祥委員 桃田清美委員 山本有希子委員 （事務局） 土本総務監 増田理事 近藤室長 山本課長 中埜総括主査 木村主事
会議の議題	公共施設マネジメントの推進について（諮問）
会議の要旨	（会議次第） 1. 開会 2. 諮問「公共施設マネジメントの推進について」 3. その他 4. 閉会
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 要点記録
記録内容の確認方法	<input checked="" type="checkbox"/> 会議の議長の確認を得ている <input type="checkbox"/> 出席した構成員全員の確認を得ている <input type="checkbox"/> その他（ ）
その他の必要事項（会議の公開・非公開、傍聴人数等）	・会議の形式：公開 ・傍聴人：1人 ・会議録の公開：有り

	審 議 内 容 (発言者、発言内容、審議経過、結論等)
事務局	<p>第2回和泉市公共施設マネジメント推進審議会を開催する。 本日議事に入るまでの間、総務管財室の山本が司会を務める。 本審議会は和泉市審議会等の設置及び運営に関する規則第10条及び15条の規定に基づき、本日の会議は会議を公開して進行すること、並びに、議事録を作成する必要から録音することを予めご了承願う。また、議事録作成後は、録音内容を消去する。</p> <p>このあとは、和泉市公共施設マネジメント推進審議会規則第6条の規定により、会長に審議会の議長として会議の進行をお願いする。</p>
会長	<p>会議に入る前に、和泉市公共施設マネジメント推進審議会規則第6条第2項の規定により、会議の開催要件の委員の過半数の出席があると認め、本日の議事を進める。</p> <p>また、会議の進め方については、前回の審議会と同様、会議開催の都度、事務局から公共施設マネジメントの取組について諮問を行い、審議会の意見を事務局で取りまとめ、後日各委員に内容を確認していただき、それを答申とする方法でよいか。</p>
委員一同	(異議なし)
会長	<p>それでは、次第2諮問「公共施設マネジメントの推進について」審議する。 事務局より説明願う。</p>
事務局	<p>諮問和泉総第2652号、「公共施設マネジメントの推進について」諮問する。 「資料1 1公共施設等の管理に関する基本方針」、「資料2」、「資料3-1」、「資料3-2」について説明 また、本日欠席の委員から事前に意見を伺っているので、説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ P 2 建物や設備の修繕・更新に係る優先度の整理について 「優先度の整理については、整理案のとおり機械的に優先度を決めるだけではなく、今後の施設のあり方等も踏まえ、優先度を決定する必要があるのではないか。」という意見があった。 <p>本市としては、優先度の整理案については、あくまでも劣化度や影響度等を考慮し、まずは機械的に優先度を整理するものだが、実際にはこれに加え、今後の施設のあり方等を踏まえて修繕を行う手法を決定したいと考えている。 例えば、仮に5年後に廃止することが決定している施設の場合は、安全確保のための最低限の補修のみを実施するなどの手法を検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ P 7 ②予防保全型維持管理手法の導入による公共施設等の長寿命化の推進について 「学校については、子どもたちに安全で良好な状態の施設に通わせてあげたいので、安価に建設し、30年ごとに建て替えることにしてはどうか。」という意見があった。 <p>本市としては、安価で建設し、通常よりも短期間で建替えを行うことについては、建替えコストの負担等の面で現実的には困難であると考えているが、施設を安全で良好な状態に維持するための維持管理手法等の研究を進めていきたいと考えている。</p>

会長	今の説明について何か質問等ないか。
会長	・ P 2 建物や設備の修繕・更新に係る優先度の整理について 施設類型の優先度については、他の自治体で事例などはあるのか。
事務局	他の自治体でも事例はある。また、これに全て当てはめることは困難と考えるので、施設類型別の優先度のただし書きに記載している通り、この優先度をベースにしながら、その他の事情を考慮し、優先度を決定する。
委員	施設類型別の優先度について、何らかの意思決定の際に誤った判断に繋がらないように気をつける必要がある。例えば施設を長寿命化するために用途変更を行うといったことが考えられる。
事務局	今後、運用の中で課題が出れば、適正運用に向けて個別調整を行うとともに、必要に応じ、適宜、優先度の整理方法を修正していきたい。
委員	施設類型別の優先度「その他③」という表現は、必要でない施設と勘違いされる恐れがあるので、表現を変更するべき。
事務局	優先度①、優先度②、優先度③というような、誤解を与えない表現に変更する。
委員	・ P 5 ESCO 事業の導入について 導入施設について、コミュニティセンターが築32年となっており、導入スケジュールでは、築34年の時期から15年程度のESCOサービスが開始され、築49年時に契約期間満了となる。そうなれば、建替えの検討時期だと推測されるので、事業実施後の市の利益が小さくなる可能性があるのではないか。
事務局	コミュニティセンターについては、本市の公共施設の中から、今後、その施設が15年以上残るのか、また、築年数、規模、設備の劣化状況等から総合的に判断し、選定したものである。ESCO事業の主な改修内容である空調の耐用年数については、15年程度のESCOサービス期間終了後から、長く使えて残り5年ぐらいと推測すると建替えを考慮しても問題はないと考える。
会長	ESCO事業については、光熱水費の削減分の中から改修費用等を捻出するので、仮に15年の契約期間終了後すぐに建て替えることになったとしても、市に損はないと考える。
会長	「資料1-2 公共施設の最適配置に関する基本的な方針」について、事務局から説明願う。
事務局	資料1-2 公共施設の最適配置に関する基本的な方針について説明
会長	今の説明について何か質問等ないか。
会長	・ P 10 「(仮称) 富秋中学校区等まちづくり検討会議」のイメージ(案)について 専門部会の数については、事務局の手間を考え、できるだけ集約する方がいいのではないか。
委員	委員会形式で行うと、意見が集めにくかったり、参加者の多様性が担保されない等が懸念される。

会長	委員の意見のとおり、参加者の多様性を確保することは大切である。他市では、Eメール委員を作っており、メールを通して、情報発信を行い、意見を集めている。そうすれば、普段、仕事などで参加が難しい方の意見を集めることができるので検討してみてはどうか。
事務局	<p>現在、幅広い方に参画いただけるように、模索しながら取り組んでいる。引き続き、現在の子育て世代やこれからの子育て世代など幅広い方に参画いただけるように取り組んでいきたい。</p> <p>また、まちづくり構想は作ったらゴールということではなく、作った構想を市民と行政がその目標に向かっていくことが大切であるため、検討会議として、引き続き運営していきたい。専門部会については、自由に誰でも参加できる場とし、検討会議とのバランスを取っていきたい。</p>
会長	<p>・P11 対象施設一覧について 項目に当初の設立年を加え、施設の歴史や伝統も考慮して検討するべきである。</p>
委員	<p>・P12 市庁舎の周辺施設について 跡地の活用については、売却だけが選択肢ではなく、地理的特性に応じて有効な活用を考えてほしい。</p> <p>また、市民体育館等の建替え検討について、同様の大型集客施設である市民文化ホールなどと一体的に検討したほうがいいのではないか。</p>
会長	<p><その他> 最後に次第3その他ということで何かあるか。</p>
事務局	<p>今後の開催予定については、今年度は本日をもって終了となる。来年度は2回程度の開催を予定している。詳細については、未定のため、改めて連絡する。</p>
会長	<p>それでは、他にないようなので、本日の審議は終了する。</p> <p>なお、この会議は、議事録を作成し公開となるが、議事録の作成方法と確認の方法については、前回同様、要点記録の議事録を作成し、会長である私が確認する。</p> <p>以上</p>